

第49回熱シンポジウム

人の環境行動をひきだすバイオクライマティックデザイン

主催： 日本建築学会 環境工学委員会 熱環境運営委員会（バイオクライマティックデザイン小委員会）

日程： 2019年10月26日（土）13:00～16:40、10月27日（日）9:00～16:00

・ 懇親会：10月26日（土）17:15～19:15（場所：SASTEC ホワイエ/シンポジウム会場の向かいの建物）

・ 見学会：10月28日（月）9:00～14:00（長野県立大学キャンパス・善光寺と門前町の町並み）

会場： 信州大学工学部 国際科学イノベーションセンター（AICS）・2F セミナースペース

「設計のための建築環境学（日本建築学会編）」を刊行し、8年が経過した。本書のなかで、バイオクライマティックデザイン（Bioclimatic Design: 以下、BD）を再定義するとともに、本委員会では「みつける・つくる・つかう」の視点からその意義について議論を重ねてきた。4年前の2015年の熱シンポジウムでは、環境計画設計に必要とされるデザイン手法を地域・都市・建築の異なる3つの視点から議論した。そして現在、建築と環境をめぐる関係は様々な展開と変化をみせている。今回の熱シンポジウムでは、BDが人・身体感覚を導く可能性を議論の軸としつつ、これまでに議論した「みつける・つくる・つかう」の成果を発展させて「なにをみつけるのか・どうやってつくるのか・どのようにつかうのか」を考えることで、BDが人の行動や身体感覚をひきだしていくことについて、参加者同士で共有する場を目指す。ことを目指したい。

プログラム

【1日目：10/26（土）】12:30開場、13:00開始

オープニング：13:00～13:30

司会：中谷 岳史（信州大学）

開会挨拶 高村 秀紀（信州大学 工学部 建築学科・学科長）

永田 明寛（首都大学東京/熱環境運営委員会・主査）

主旨説明 金子 尚志（滋賀県立大学/BD小委員会・主査）：第49回熱シンポジウムの主旨説明・BD建築の現状

セッション1：13:30～15:00「なにをみつけるのか：環境要素への気づき」

司会：廣谷 純子（みつデザイン研究所）

- ・ 廣谷 純子（前掲）/ 宿谷 昌則（東京都市大学）：環境要素の見つけ方
- ・ 松元 良枝（株式会社クアトロ）：気候のみつけかたとパッシブデザイン
- ・ 宇野 朋子（武庫川女子大学）：設計課題における実験を通じた建築環境の理解
- ・ 岩元 真明（九州大学）

セッション2：15:10～16:40「信州から建築と環境をめぐる関係を考える」

司会：宇野 朋子（前掲）

- ・ 矢作 隆行（石本建築事務所）
- ・ 松橋 寿明（宮本忠長建築設計事務所）：信州型・小エネルギー建築 特別養護老人ホーム 高瀬荘/朝日村役場庁舎
- ・ 梅干野 成央（信州大学）：信州の民家と環境
- ・ 須永 次郎・須永 理葉（暮らしと建築社）

【2日目：10/27（日）】8:30開場、9:00開始

セッション3：9:00～10:30「どうやってつくるのか：人の環境行動をひきだすBD建築のための設計」 司会：高田 真人（熊本大学）

- ・ 高田 真人（前掲）：1) 設計教育に用いられるシミュレーションツールの概説 / 2) 環境要素スケール図による設計教育
- ・ 栗原 潤一（ミサワホーム総合研究所）/ 北川 滋春（創建築研究所）：環境共生住宅の普及のためのツールと活動
- ・ 久保 久志（東畑建築事務所）：建物の使いこなしを促す利用者協働の施設づくり
- ・ 中谷 岳史（信州大学）：適応モデルを利用した自然室温設計

セッション4：10:40～12:10「どのようにつかうのか：BD建築の使い方・住まい方の伝え方」 司会：佐藤 理人（ミサワホーム総研）

- ・ 佐藤 理人（前掲）：ハウスメーカーが取り組む環境行動を引き出すIoT活用住宅の現状と課題
- ・ Ri.jal.H.B.（東京都市大学）、今川 光（同）：適応モデルと居住者の環境調整行動
- ・ 大塚 弘樹（旭化成建材（株）快適空間研究所）、白石 真二（同）、濱田 香織（同）、橘田 洋子（駒沢女子大学）、須永 修通（首都大学東京）、小野寺 宏子（同）：住宅の断熱水準と居住者の暮らし - WEB・訪問調査からみえた生活価値 -
- ・ 小野寺 宏子（首都大学東京）、須永 修通（前掲）：高性能自然エネルギー利用住宅における居住者意識の変化

昼食休憩：12:10～13:10

セッション5：13:10～14:40「事例から読み解くBD建築のありかた：分野間統合と使う側からの視点」 司会：斉藤 雅也（札幌市立大学）

- ・ 斉藤 雅也（前掲）、増永 英尚（オレンジホームケアクリニック）：オレンジリビングベース（福井）の熱環境と住みこなし
- ・ 中川 純（レビ設計室）：媒介項
- ・ 金子 尚志（前掲）
- ・ 荻原 廣高（神戸芸術工科大学・ARUP）：みんなの森 ぎふメディアコスモス

セッション6：14:50～15:50「討論：人の環境行動をひきだすバイオクライマティックデザイン」 ファシリテーター：金子 尚志（前掲）

話題提供 長谷川 兼一（秋田県立大学）：居住リテラシーは環境行動をひきだすか？

公開討論 パネリスト：長谷川 兼一（前掲）、高田 真人（前掲）、久保 久志（前掲）、中川 純（前掲）、荻原 廣高（前掲）

クロージング：15:50～16:00

司会：中谷 岳史（前掲）

総括（まとめ） 小玉 祐一郎（神戸芸術工科大学 名誉教授）

閉会挨拶 高木 直樹（信州大学 名誉教授）

参加費 会員6,000円、会員外8,000円、学生2,000円（資料代を含む、当日会場でお支払い下さい） 定員 100名（申し込み先着順）

申込方法/問合せ 日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬 E-mail: ichinose@aij.or.jp TEL: 03-3456-2051

※ 懇親会・見学会への申し込み方法・参加費等の詳細は、シンポジウム申し込み者に別途ご案内します。